

ABSTRACT OF THE DISCLOSURE

マイクロコンピュータは、CPUを間欠的に動作させる間欠動作制御部を有する。さらに、マイクロコンピュータは、CPUの動作を補助する回路として、タイマブロック、レベル検出回路、又はタイマ連動制御部を有している。タイマブロックにより、CPUはタイマ機能を実現できる。レベル検出回路により、CPUは外部信号のレベルに応答して処理を開始できる。タイマ連動制御部により、CPUは、外部装置の起動後に動作を開始することができる。これらの構成により、マイクロコンピュータの消費電力を低減することができる。

5